

平成26年度第6回障がい当事者支援プロジェクト会議録

日時：平成27年3月17日（金）13：30～15：30

場所：三重県身体障害者総合福祉センター大研修室

参加者：プロジェクトメンバー11名、事務局4名

1. 自己紹介

- ・参加者が前回と同じメンバーだったので省略されました。

2. 障がい当事者支援プロジェクトの目的の確認

- ・事務局の担当者から、プロジェクトの目的が説明されました。

- ・プロジェクトの目的は、「障がいがあってもなくても暮らしやすい社会にし

ていくにはどうすればよいかを考えるための場所」です。

3. 障がい当事者支援プロジェクトのルールについて

- ・事務局の担当から、プロジェクトで守って欲しいルールが伝えられました。

①参加メンバー全員が意見を言いあえるようにすること。そのために、自分だ

けでなく、他の人の意見もきちんと聞くこと。

②これから考えたいこと、やりたいことはできるだけ参加メンバーの間で

決めること。手伝いが必要なことがあれば担当者に伝えること。

③わからないことがあればいつでも質問すること。聞かれた人は教えてあげること。

④このプロジェクトで聞いた他のメンバーの個人情報勝手に他の場所ではべらないこと。

4. 前回（2月）話し合ったこと

・事務局の担当者から、前回話し合ったことが説明されました。

・前回は、「これからのこと」について話し合いました。

・みんながわかりあうための交流の場を作りたい、住んでいるところによる

違いや行政への要望についても話したい、という意見が出ました。

・近いうちに開かれることになっていた施設入所者等意向調査報告会につ

いて意見交換しました。入所している人達は本当の気持ちを伝えにくい、

といった意見が出ました

5. 今回の話し合い

・以下の内容について話し合いました。

○施設入所のことなど

※2月23日に行われた施設入所者等意向調査報告会に参加した人を中心に

以下のような意見が出ました。

・（私は）これ以上新しい入所施設を作らない方がよいと思うけど、結局の

ところ^{みえけん}三重県ではこれからどうなるのだろう？

・（入^{にゆうしょ}所^{せつ}施設^{びょういん}や病院^{ちいき}ではなく）地域^{くらし}で暮らし^{やすく}やすくなる^{ほうほう}ような方法^をみんな
で^{かんがえて}考えて^{いきたい}いきたい。

・（障^{しょう}がい^{ひと}のある人^の）親^{おや}は施設^{しせつ}を作^{つくって}って^{ほしい}という人^{ひと}が多い^{おおい}みたい。で
も、本人^{ほんにん}の本当^{ほんとう}の気持ち^{きもち}はどうなのだろう？たぶん、本人^{ほんにん}は親^{おや}に本当^{ほんとう}の気持ち^{きもち}
を^{いいにくい}言^{いはない}にくい^{のでは}のではない^かか。

・調査^{ちようさ}結果^{けつ}の報告^{ほうこく}だけでなく、三重^{みえけん}県^{けん}としての^{かんがえかた}考え方^{をも}っと^{ききた}聞^かきた^{かった}かった。

・親^{おや}は「安心^{あんしん}して生活^{せいかつ}が送^{おく}れる^{ように}施設^{しせつ}に入^{はい}って^{ほしい}」^{いう}。親^{おや}の気持ち^{きもち}
は^{わかる}分かる^{けど}、自分^{じぶん}は地域^{ちいき}で生活^{せいかつ}したい^し、その^{きもち}気持ち^も曲^{まげ}たく^{くない}くない。

・やはり^{おや}親^{きもち}の気持ち^{ほんにん}と本人^{きもち}の気持ち^{べつ}は別^{かんがえる}に^{おも}うべき^だだと思^{おもう}う。

・私^{わたくし}も前^{まえ}は入^{にゆうしょ}所^ししたら^{おわり}終^{しま}わり^{という}気持ち^{きもち}だった。でも^{けいけん}経験^{のため}のために
定^{てい}期的^{てき}に^{たん}短期^き入^{にゆうしょ}所^{りよう}を^{みじかい}利用^{きかん}する^{きぶん}ようにな^{てんかん}った。短^{たん}期^き間^{かん}なら^{きぶん}気分^{てんかん}転^{てん}換^{かん}になる^けけ

ど^{ぎむ}義務^{てき}的^{りよう}に^{つらい}利用^{わたし}しな^{ちいき}ければ^でなら^{ない}なくなる^{のは}のは^{辛い}辛い。私^{わたし}は^{やっぱり}やっぱり^{ちいき}地域^で
暮^{くら}ら^{したい}したい。

・入^{にゆうしょ}所^{せつ}施設^{しよくいん}の職^{なに}員^{たの}は、何^{たの}か^{んで}頼^{たい}んでも^おすぐ^{たい}対^{おう}応^{して}してくれ^{ない}ない^し、自分^{じぶん}が^{おもう}思^うう
よ^{せいかつ}うな^{おくれ}生活^{ない}は送^{れない}れない。

・障^{しょう}がい^{ひと}のある人^はは、親^{おや}だけで^{なく}、きょう^だい^{から}も、自^{じり}立^つ生活^{せいかつ}を^{ほんたい}反^{はん}対^{たい}さ

れる。^{だれ}誰^{かに}に^ふフ^おォ^ろー^{して}ほ^{しい}しい。

・ 報告会の内容からは、家族の切実さが伝わってきた。本人だけでなくみんな

が安心して暮らせるような社会になって欲しい。

・ 親亡き後の不安が大きいのだと思うが、親がいなくなってからのことは、

それまでの本人の経験によって変わってくるのではないか。

・ 私 は施設に入りたくない。お母さんと一緒に暮らしたい。

・ 今は親しか頼りにできる人がいない。他に誰を頼ったらよいかわからない

ので相談できる相手が欲しい。

○これからこのプロジェクトでやりたいこと

・ これからも毎月1回くらい集まりたい。

・ これから、福祉の制度を利用する人は「サービス等利用計画」というもの

を作らなければならなくなる。それに倣って自分たちが困っていることを

解決するための計画をプロジェクトのメンバーの間で考えてみてはどうか。

・ 福祉の制度を使うための計画を他人に考えてもらうのではなく、自分自身で

作れるようになった方が良くと思う。わからないことがあれば、人に聞けばよ

い。

・ みんなが話しやすいテーマで何かをしたい。

・ ヘルパーなどの介助者も交えて打ち解けた感じで話しをしたい。

・ プロジェクトの場に出た意見をプロジェクトの中だけに留めないで、発信す

きかい ほしい
る機会が欲しい。

・ もっとメンバーを増やしていろいろな人の意見を聴きたい。このような場
でづらい人、例えば入所施設に入っている人の意見も聴いてみたい。

・ いろいろな人がプロジェクトに参加すること自体が地域を良くしていくこと
のきっかけになるのではないか。

たのしい
・ 楽しいこともやりたい。

ぶろじえくと なか あげられた じぶん おもい しえんしゃ ちよくせつつたえる
・ (プロジェクトの中で挙げられた) 自分たちの思いを支援者に直接伝える

きかい つくりたい
機会を作りたい。

めんばー わけて、ぐるーぶごとにやりたいことをするのはどうか。

・ やりたいことに優先順位をつけていくことが必要だと思う。

5. 次回以降のこと (事務局担当者より)

・ このプロジェクトでこれからやりたいことはメンバーの皆さんが考えてく
ださい。お手伝いが必要なことがあれば事務局の担当者に伝えてください。

・ 今回、「プロジェクトで出した意見を支援者に伝える機会が欲しい」という

ご意見がありました。県がしている会議や研修でよければ、そのような機会

をつくることができます。もしよかったら、一度見学に来てください。

(※4月17日には市町職員向けの研修、5月10日は事業所職員向けの研修が

あります。6月には三重県の障がい者福祉を良くするための会議（＝三重県

自立支援協議会）があります）

・平成27年度の第1回は4月14日（火）13:30～15:30の予定。正式に決まり次第、

事務局の担当者から案内します。

・知り合いの人でこのプロジェクトに興味のある人がいたら誘って見てくだ
さい。